福岡県社会福祉協議会　広報誌

ふくおかのふくし

155号
Jan.2016

Welfare of Fukuoka

今　号　の　内　容

○ 特集　職員の気づき力、サービスの改善に効果あり
～認知症グループホーム等外部評価～　p 1
○ ふくおかの高齢者の元気発信！　p 3
○ 県内で進む　災害時の支援協力体制　p 4
○ 共同募金会活動紹介　p 5
○ 社会福祉施設　種別協議会活動紹介　p 7
○ ふくふくＩＮＦＯ　p 9

みんなで もち丸め
吉井幼稚園（うきは市）

関連記事（5頁）

じぶんの町を良くするしくみ
赤い羽根共同募金
この広報誌は、一部共同募金の配分金を受けて発行しています。

特集

職員の気づき力、サービスの改善に効果あり

～認知症グループホーム等外部評価～

外部評価とは、認知症対応型共同生活介護事業所及び介護予防認知症対応型共同生活介護事業所（以下「グループホーム」）で提供しているサービスの内容について、第三者の立場で評価調査員が行う訪問調査の結果と、評価を受ける前にグループホームが行った自己評価の結果を併せた総括的な評価結果を公表する制度です。

平成14年から制度化され、平成17年から1年に1回の受審が義務付けられました。

外部評価結果とそれをもとに事業所で作成された目標達成計画は、保険者である市町村に提出され、事業所が実施し、利用者家族や行政、地域住民等が参加する運営推進会議で報告されます。

公表はワムネットで行っており、**利用家族や今から入所を検討している家族等誰でも自由に見ることができる**ようになっています。

本会では、平成17年に評価機関として県の選定を受け、以来本事業を実施しており平成26年度は53件の調査を行いました。

評価の目的

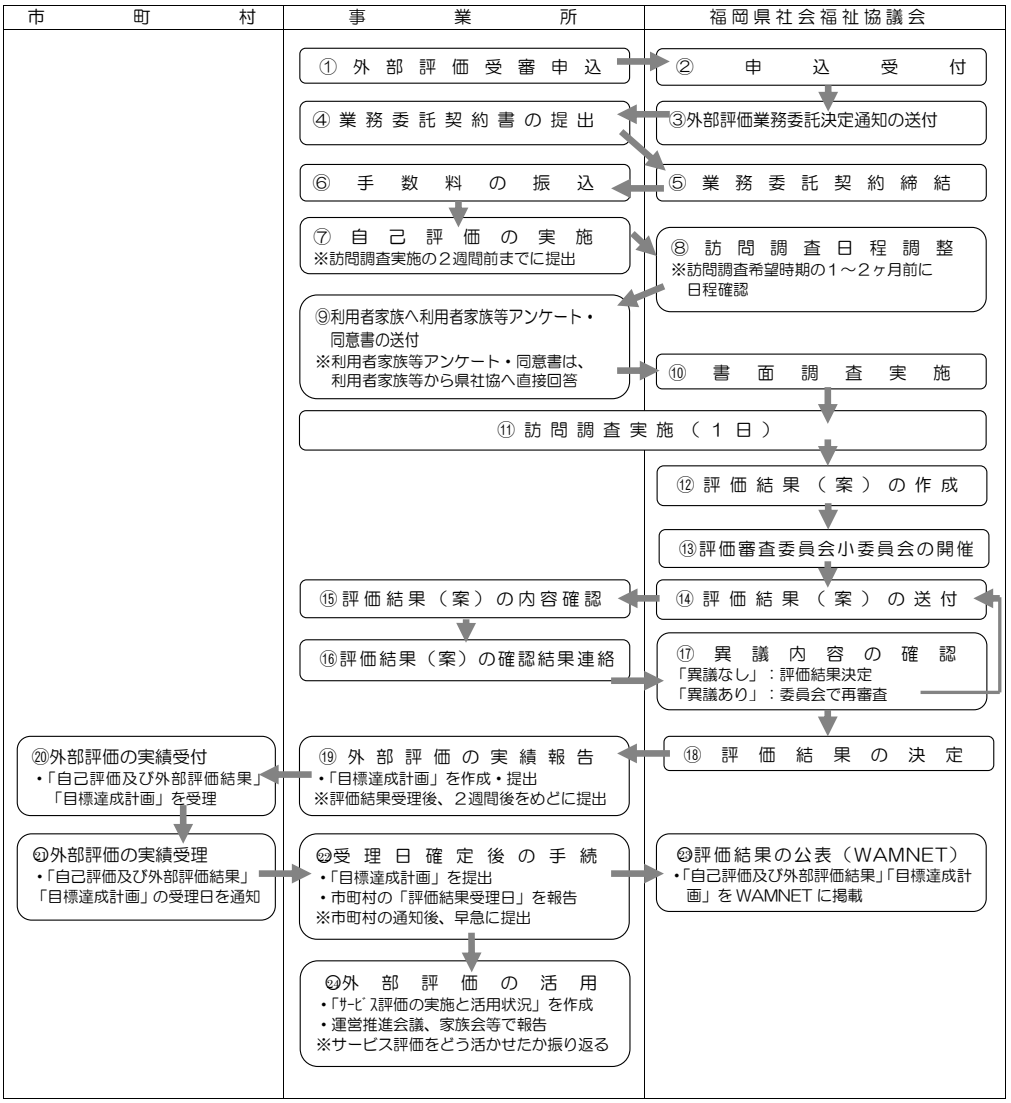
1　利用者及び家族の安心と満足の確保を図ること。
2　ケアサービスの水準を一定以上確保すること。
3　改善点を明確にし、改善に向けた関係者の自発的努力と体制づくりを促すこと。
4　継続的に評価を行うことを通じて、関係者による自主的な研修等によるケアの向上を促す教育的効果をねらうこと。
5　グループホームに対する社会的信頼を高めること。

※地域密着型サービス　サービス評価ガイドブックから抜粋

外部評価の公表までの流れについては、左表のとおりです。

グループホームから提出いただいた資料や訪問調査での聞き取りをもとに状況把握に努め、その事業所のサービス内容を伝えることはもちろん、特色や力を入れていることや等を評価結果として記載しています。そして、評価結果を公表する際は、着実に一つずつ課題を解決いただけるよう改善点や課題を整理しています。

社会福祉法人　福岡県社会福祉協議会　外部評価の流れ



外部評価を受けて・・・

平成27年に外部評価を受審した、みやこの苑グループホーム（行橋市）管理者の藏園さんにお話を伺いました。

Q1　受審してどのような効果がありますか。

職員全員で各項目について自己評価を行いました。

考え方の指針を参考にして、ここはこういう事を問うているのかと確認しながら進めるのですが、**グループホームに求められていることを職員が知るための勉強になるとともに、サービスの質の向上に繋がっている**と感じます。

Q2　訪問調査の様子はいかがでしたか。

訪問調査の日はなるべく良く見せようという思いは働きますが、**ありのままを見てもらい、助言や意見をいただくように心がけました。**

また調査員の方も丁寧に調査し、事業者側の説明も参考にして評価してくださいました。

Q3　これまでの受審で支援の在り方に変化はありましたか。

職員がサービス内容について意識するようになるとともに、地域との交流で清掃活動などに積極的に参加するようになりました。

また、外部評価で「次のステップに向けて期待したい内容」が記載されていない場合も、外部評価以外の項目でできていないと思われるところについては目標達成計画を作成し、改善に向けて実行することにしています。

受審されたみやこの苑グループホームで梅干しづくりに励む利用者のみなさん

【受審の申込み・問い合わせ】
施設福祉部　評価推進課
☎ 092-584-3610

福祉サービス第三者評価事業のご案内

○福祉サービス第三者評価事業とは

福岡県福祉サービス第三者評価推進機構から認証を受けた公正・中立な第三者機関が、福祉サービスを提供している事業者について、専門的かつ客観的な立場から評価を行う仕組みです。一般の方々に対し、福祉サービスの選択に有効な情報を提供し、また、事業所での福祉サービスの質の向上を図ることを目的としています。

○受審の効果は

- 利用者の安全、権利擁護、職員の質の向上など、健全な福祉経営の新たなヒントを得るきっかけとなります。
- 自己評価や訪問調査等の第三者評価のプロセスを通して、職員の気づきの力、サービスの改善、課題の共有化が深まります。

○保育所の計画受審

平成27年度から5年間で保育所の受審を促進するために、受審・公表を行った保育所に対して、受審料の半額程度を補助することとなりました。

利用者の皆様に安心して質の高い福祉サービスを利用いただくために、積極的な受審をお願いします。

福岡県福祉サービス第三者評価の評価結果は、下記のHPで確認できます。

・福岡県福祉サービス第三者評価推進機構HP　http://www.fsw.or.jp/hyoka/top.html

●受審の申込みは、下記評価機関へ直接ご連絡ください。

・公益社団法人福岡県社会福祉士会	☎ 092-483-2944
・特定非営利活動法人医療・福祉ネットワークせいわ	☎ 0952-41-6522
・特定非営利活動法人北九州シーダブル協会	☎ 093-582-0294
・公益社団法人福岡県介護福祉士会	☎ 092-474-7015

●福岡県福祉サービス第三者評価推進機構事務局

・福岡県社会福祉協議会 施設福祉部 評価推進課	☎ 092-584-3610

ふくおかの高齢者の元気発信！

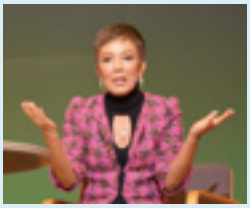
スポーツや文化活動を通じて、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを支援するために福岡県では「ねんりんスポーツ・文化祭」を開催しており、世代を超えた交流の輪を着実に広げています。１５回目となる今大会のメーンイベントを１１月７日（土）に直方市のユメニティのおがたで開催しました。

式典・記念講演

式典では、ねんりんピック山口大会で活躍した選手による**「元気ふくおか宣言」**が行われ、地域や世代を超えた交流を通じて、明るくはつらつとした高齢社会づくりを目指そうと呼びかけました。

続く記念講演では、歌手で俳優のピーターさんに「ピーターのビューティーライフ」～素敵な毎日を過ごすために～と題して、トークショー形式で行われました。

ピーターさんとＭＣとの絶妙な会話のやり取りは、常に笑いに包まれながらも、来場された皆さんの真剣な眼差しが印象的でした。



合唱フェスティバル

高齢者を中心とした５つの合唱団がそれぞれに素晴らしい歌声を披露され、直方少年少女合唱団を交えて出演者全員で「ふるさと」を歌いました。合唱の楽しさや出演された皆さんの元気が存分に伝わってくる合唱フェスティバルとなりました。

地域交流イベント

田川市と桂川町の各老人クラブ連合会による「地域文化伝承コーナー」、ボランティア団体ひなたぼっこによる「絵手紙体験コーナー」、「70 歳現役応援センター出張相談会」等、多彩なコーナーを設けました。

また、障害者がつくるまごころ製品や地元のグルメ等を販売した「ふれあい市場」や「健康福祉コーナー」、「スポーツ・レクリエーション体験コーナー」でも多くの人で賑わいました。

マスコットキャラクター　くるりん

世代間交流イベント

「おじいちゃん・おばあちゃんの絵」コンクールでは、県内の小学校から3,133 点の応募があり、その中から入賞作品 60 点を展示しました。多くの家族連れの方に鑑賞いただきました。

また、小ホールでは、地元タレントの今村敦子さんの「読み聞かせ」やお笑い芸人スギちゃんの「笑って健康ステージ」等が行われ、子どもからシニアまで多くの世代が一緒に楽しむことができました。

福岡県ねんりんスポーツ・文化祭のメーンイベントや各種交流大会、合唱フェスティバル等が契機となり、日頃から多くの方々との交流を深めながら、生きがいづくりや健康づくりを実践する「はつらつと輝く」シニアの方がますます増えていくことを願っています。

県内で進む　災害時の支援協力体制

近年、全国で大規模な地震や豪雨災害などが多発しています。このような場合、地域の社会福祉協議会が中心となり、様々な機関と連携しながら「**災害ボランティアセンター**」を立ち上げ、要援護者の支援や救援活動を行うことが、全国的に増えています。

大規模・広域的な災害が発生すると多くの思いを持った災害ボランティアとともに被災地社協を支援する応援職員も駆け付けます。

しかし、駆け付けた応援職員は、被災地社協の現状と課題も十分に共有できないままに支援に当たらなくてはならず、被災地の地理にも疎いため、効果的な支援には、時間を要することもあります。

そこで、日頃から顔の見える連携体制が構築されている近隣社協で、災害時に迅速かつ円滑に、支援を実施するため、糟屋郡の7つの社協（宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・久山町・粕屋町）と古賀市社協、広域的な支援を担う県社協で、平成27年12月1日に、「**糟屋地区社会福祉協議会災害時相互支援協定**」を締結しました。

協定は、被災地域への支援職員の派遣や、災害救援活動に必要な備品・資材の提供、支援要請手続きの手順等を明記しています。

本会では、今後も地区単位での協定締結の支援を行っていくとともに、災害発生時に県域で早期に支援体制が構築されるよう体制整備を図っていきます。

一方、北九州市では、去る11月12日に**市社協**と**北九州青年会議所**が**災害時相互協力協定**を締結しています。

これは、災害時に相互に協力して、効率的かつ効果的に災害ボランティアセンター運営や人的・物的支援等を行うことを定めたものです。

また、12月11日には、大牟田でも市社協と青年会議所が同協定を締結する等、県内各地で災害時相互支援体制づくりが進んでいます。

北九州青年会議所　小森　敏弘 理事長（右）
北九州市社協　柏木　修 会　長（左）

【問い合わせ先】
地域福祉部　地域課
☎ 092-584-3377

民生委員制度創設100周年に向けて、シンボルマーク決定

民生委員制度は、大正6（1917）年5月に、岡山県で始まった「済世顧問制度」から数えて、平成29年5月に100周年を迎えます。

福岡県では、大正14年9月に県告示第六百八号で方面委員が初めて設置され、旧門司、大牟田の2市に方面委員が委嘱されました。

翌15年には、旧小倉、旧若松、旧八幡、旧戸畑、福岡、久留米の6市で方面委員が委嘱され、人口の多い都市から設置されていきました。

全国民児協では、100周年を迎えるにあたり、様々な企画検討がなされ、100周年シンボルマーク及びキャッチコピーが決まっています。

今後、民生委員・児童委員及び主任児童委員は、100周年シンボルマーク及びキャッチコピーが入ったバッチを着用し活動を行います。

福岡県民児協としても、民生委員制度創設100周年に向けて、福岡県独自の事業及び方針を検討するため、「民生委員制度創設100周年記念事業企画検討委員会」を設置しています。民生委員活動を地域に周知する機会として捉え、記念事業等の企画検討及び、機運の醸成を図るために、活動を行っていきます。

シンボルマークは、民生委員・児童委員のマークと「100」の文字を組み合わせ、さらに「地域に根ざす」という委員活動の特性を踏まえたキャッチコピー「これからも地域とともに」を一体的にデザインしています。

【問い合わせ先】
福岡県民生委員児童委員協議会
（地域福祉部　地域課内）
☎ 092-584-3377

【うきは市社会福祉協議会】気持ちのこもったおもちを届ける！

「お正月用おもち配布」で地域の見守りを支援

うきは市社会福祉協議会では、歳末たすけあい運動の一環として、ひとり暮らし高齢者の見守りを兼ねて、お正月用おもちなどを配布する活動を支援しています。

気持ちのこもったおもち

吉井幼稚園（うきは市吉井町）では、12月16日、民生委員や園児の保護者、ボランティアの協力のもと「もちつき会」が開催されました。園児たちは、つきたてのおもちを丸める作業だけでなく、もちつきにも挑戦し、園庭には、「ワッショイ、ワッショイ」と元気な掛け声が響きました。

園児たちの声援で杵を持つ手に力が入りました。

高齢者お宅への訪問

ついたおもちは、もちつき会の当日の午後から民生委員さんが園児たちの手作りカレンダー等と一緒に、地域に住む75歳以上のひとり暮らし高齢者のお宅を訪問し届けられました。

民生委員さんと一緒におもち丸めに挑戦！

おもちを受け取った方は、「毎年おもちを届けてくれるのを楽しみにしています。本当にご苦労さまです。私は皆さんのおかげで暮らしていけます。」と笑顔で話されました。

吉井幼稚園では、もちつき会以外にも園児たち手作りの年賀状をひとり暮らし高齢者へ配布する活動をされており、高齢者の方に喜ばれています。

共同募金は、このような地域の見守り活動に活用されています。

みんなの気持ちがこもったおもちを配布。

歳末たすけあい運動初日街頭募金を実施！

「つながり　ささえあう　みんなの地域づくり」をスローガンに、様々な福祉活動を展開する歳末たすけあい運動が実施されました。福岡県共同募金会では、ボランティアのご協力のもと、運動初日となる１２月１日に西鉄福岡（天神）駅周辺（福岡市中央区）で街頭募金を行い、県民の皆様から１０４，４４６円の貴重な浄財をいただきました。

お正月を自宅で迎えるひとり暮らしの高齢者に物資を届ける見守り活動や地域交流を目的とした餅つき大会、福祉施設で暮らす子どもたちの進学や就職のための支援金などに活用させていただきました。

共同募金をもっと身近なものへ。赤い羽根キャッチフレーズ入選校を訪問して表彰！

今年の赤い羽根キャッチフレーズ募集には、県内の小・中・高等学校等から、１，７１４点の応募があり、最優秀作は、１０月２３日、福岡県社会福祉大会（春日市）で表彰しました。

また、佳作・特別賞は、**入選された学校を訪問し、全校集会や学年集会などで表彰式を行いました。**

児童・生徒たちには、赤い羽根キャッチフレーズの応募を通して、共同募金に参加いただいています。

松ヶ江南小学校（門司区）での表彰の様子（６年２組の皆さん）

佳作・特別賞入選学校

- 北九州市立松ヶ江南小学校（門司区）
- 敬愛小学校（門司区）
- 八女市立黒木小学校（八女市）
- 大野城市立御笠の森小学校（大野城市）
- 朝倉市立朝倉東小学校（朝倉市）
- 宇美町立原田小学校（宇美町）
- 粕屋町立大川小学校（粕屋町）
- 筑前町立中牟田小学校（筑前町）
- 筑前町立三輪小学校（筑前町）
- 大刀洗町立大刀洗小学校（大刀洗町）
- 福岡市立東住吉中学校（博多区）
- 福岡市立宮竹中学校（南区）
- 福岡市立長尾中学校（城南区）
- 筑前町立三輪中学校（筑前町）
- 福岡県立八幡高等学校（八幡東区）
- 福岡県立八幡中央高等学校（八幡西区）
- 福岡県立青豊高等学校（豊前市）

【大木町社会福祉協議会】心も体も温まる！

赤い羽根共同募金まつり

11月29日、寒空の下、大木町社協では、天然温泉 大木の湯 アクアス（大木町）前で、福祉について、目で見て、体験して、身近なものとして感じてもらい、共同募金について啓発するため**「赤い羽根共同募金まつり」**を開催しました。会場では、大木中学校生徒の協力による募金活動や福祉用具の展示・体験、障害を抱えた方々が働く事業所によるお弁当やお菓子等の販売、赤い羽根共同募金啓発パネルの展示などが行われました。**「共同募金や福祉に触れあって、少しでも関心を持っていただき、自分に何かできることがないかを考える機会になればいいですね。また、困ったときには社協を頼っていただきたいです。」**と担当者は話されました。

当日集まった貴重な浄財は、共同募金会を通じ、ひとり暮らし高齢者等の交歓会や障害児者の福祉増進と社会参加を目的とした活動の支援など、大木町の身近な福祉活動に役立てられます。

元気な呼びかけに多くの方々が募金にご協力くださいました。

春のひとり暮らし高齢者等交歓会の様子

【問い合わせ先】
福岡県共同募金会
☎ ０９２-５８４-３３８８

社会福祉施設 種別協議会 紹介

本会では、各種社会福祉施設で構成する協議会の事務局（１１種別）を担っています。
今年度は、このコーナーで順次各種別協議会の活動等を紹介します。

福岡県社会就労センター協議会

本会は、社会就労センター＜就労継続支援事業Ａ型・Ｂ型及び就労移行支援事業、生活介護事業（生産型）等＞が加盟する組織で、「障害者の働く・暮らす」を支援することを目的に活動しています。福岡県社会福祉協議会に事務局を置き、現在、８６の施設・事業所（平成２８年１月１日現在）が会員となっています。

社会就労センターは、働く意欲がありながら障害等の理由により一般就労が困難な人々が個性や能力に合わせた環境で働く場であり、一般就労を希望する人々の訓練の場でもあります。

本会の役割としては、制度施策への対応、情報発信、福岡県等との意見交換及び要望・提言活動、職員の資質向上に向けた研修等があげられます。

現在、わたしたちを取り巻く状況は、めまぐるしく変わってきています。障害者総合支援法 3 年目途の見直し検討が大詰めを迎えておりますし、社会福祉法人改革も目の前に迫っています。また、障害者差別解消法や改正雇用促進法など、合理的配慮も含めた差別禁止の法律もいよいよ本年４月から施行されます。

このような激動の時代の中で、本会は会員間の連携を深め、社会の動きに対応しつつ、「障害者の働く・暮らす」をしっかり支える組織として取り組んでいきたいと願っています。

福岡県セルプセンター（平成２８年度からは「ＮＰＯ法人セルプセンター福岡」に変更予定）

福岡県セルプセンターは、いわゆる就労事業の振興、障害者の自立に向けた工賃向上を目指すセンターです。

本年度より社会就労センター協議会から独立して、NPO 法人化を目指して取り組んでおり、１１１団体（平成２８年１月１日現在）が会員加盟をしています。

現在、福岡県の就労継続支援事業 B 型で働いている人の平均工賃は月額 14,000 円程度となっています。障害基礎年金（2 級 65,000 円程度）と合わせても、8 万円弱と地域で生活することもできない状況です。国もこの状況を改善するため、工賃向上計画に取り組んできました。その一環として、官公需（国・県・市町村等）の仕事を優先的に障害者就労施設に発注するよう「障害者優先調達推進法」が平成２５年４月に施行されました。さらに、物品購入や役務（印刷、クリーニング、草刈、清掃等のサービス業的な仕事）の発注の際には、「随意契約」についても柔軟に対応するよう国は求めています。低価格の内職的仕事ではなく、官公需や民間から「適正な条件による継続的な仕事」を受け、その仕事を施設等に公平に分配していくこともセルプセンターの役割です。

センターの役割としては、前記のような共同受注窓口としての機能に加えて、各地における販売会（まごころ製品大規模販売会も含む）への取り組み、インターネットによる商品紹介、製品カタログによる営業、事業振興に向けた研修、セルプ自動販売機の設置促進等があります。

現在、大牟田市に事務所を置いて、営業担当者が福岡県内各地を回り、営業活動等を行っています。

今後、さらなる組織強化・会員拡大に向けても取り組んでいきます。障害者が誇りを持って働き、年金と合わせて自立生活が可能となる工賃水準をめざして共に取り組んでいきたいと願っています。

昨年度の福岡三越での大規模販売会

【各種別協議会 事務局】 施設福祉部 施設課内 （春日市原町 3-1-7 ｸﾛｰﾊﾞｰﾌﾟﾗｻﾞ西棟 6 階）
TEL 092－584－3377（代表） FAX 092－584－3369・3381

平成27年度

福祉施設の事故・紛争円満解決のために

ホームページでも内容を紹介しています
http://www.fukushihoken.co.jp

社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償（賠償責任保険、動産総合保険）

❶ 基本補償（賠償・見舞）

保険期間1年間種級別A級

▶補償金額

		基本補償（A型）	見舞費用付補償（B型）
賠償事故に対応	対人賠償（1名・1事故）	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償（1事故）	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中）	200万円	200万円
	うち現金補償限度額（期間中）	20万円	20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失（期間中）	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	初期対応費用（期間中）	500万円	500万円
	事故初期見舞費用（1名につき）	死亡 10万円 後遺障害 0.3~10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 （1事故で10万円限度）	死亡 10万円 後遺障害 0.3~10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 （1事故で10万円限度）
	利用者傷害事故見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料（掛金）

	定員	基本補償（A型）
基本補償（A型）	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	以降1名~10名増ごと	1,500円

見舞費用付補償（B型）：基本補償（A型）保険料 ＋ 【見舞費用加算】定員1名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 施設の医療事故補償
- オプション3 ● **新設**：信用不動産賠償事故補償

❷ 個人情報漏えい対応補償　❸ 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償（普通傷害保険）

❶ 入所型施設利用者の傷害事故補償　❷ 通所型施設利用者の傷害事故補償

（10口まで加入できます）　保険期間1年間種級別A級

▶補償金額	1口あたりの補償額
死亡保険金	100万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%
入院保険金（1日あたり）	800円
手術保険金	入院中の手術：入院保険金日額の10倍 外来の手術：入院保険金日額の5倍
通院保険金（1日あたり）	500円

▶年額保険料（掛金）	定員1人1口あたり
❶入所型施設利用者	1,310円
❷通所型施設利用者	990円

❸ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン2-❶、❷の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

プラン3 施設職員の補償（労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険）

❷ 施設職員の傷害事故補償

（10口まで加入できます）　保険期間1年間種級別A級

▶補償金額	1口あたりの補償額
死亡保険金	140万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%
入院保険金（1日あたり）	1,500円
手術保険金	入院中の手術：入院保険金日額の10倍 外来の手術：入院保険金日額の5倍
通院保険金（1日あたり）	600円

▶年額保険料（掛金）	定員1人1口あたり
施設役員・職員の1名1口あたり	3円（1日あたり） 780円（年間：週5日勤務の場合）

❶ 施設職員の労災上乗せ補償
❸ 施設職員の感染症罹患事故補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」）です

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者
社会福祉法人
全国社会福祉協議会

（引受幹事保険会社）損害保険ジャパン日本興亜株式会社
TEL：03（3593）6824

取扱代理店
株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667　FAX：03（3581）4763

《SJNK14-16349 2015.2.10作成》

ふくふくInfo

福岡トヨペット様から高齢者・障害者施設・事業所へ車いす寄贈

希望舎での寄贈式

福岡トヨペット株式会社様から、今年度も県内の高齢者福祉施設･障害者福祉施設３０カ所にそれぞれ１台ずつ車いすを寄贈されました。

同社は平成１９年から今回までに 366 台の車いす寄贈を続けてこられました。

去る１２月１５日（火）に福岡トヨペット株式会社　谷口 正彦 常務取締役が本会を来訪され、寄贈事業の報告があり、寄贈を受けた施設から「足腰の不自由な利用者が多く、車いすで行動範囲が拡がり、大変感謝しています。」との声が寄せられているそうです。

福岡トヨペット株式会社様、ありがとうございました。

読売光と愛の事業団西部支部様から母子生活支援施設利用者へ歳末プレゼント

社会福祉法人 読売光と愛の事業団西部支部様は、毎年末、福岡県内の母子生活支援施設の利用者へ「歳末プレゼント」（１世帯あたり１万円）を贈られており、今年で３２年目を数えます。

去る平成２７年１２月２１日（月）、読売新聞西部本社で行われた目録寄贈式では、読売光と愛の事業団 上村 克也 事業部長（写真右）が「毎年、寄付いただいた善意を母子支援施設に入所の母子世帯へつなげていければとの思いで歳末プレゼントを継続しています。この時期にクリスマスプレゼントやお年玉として活用いただきたいと考えています。」と目録を贈呈されました。

これを受けたアゼリア・宮田の野間口 博文 施設長（福岡県母子生活支援施設協議会 副会長、写真左）は「経済的に厳しい世帯も多い中、年末に多額の寄付をいただき、感謝申し上げます。いただいた浄財は社会と繋がっている事を母子に伝え、大切に活用させていただきます。」とお礼を述べました。

今年は７施設にプレゼントが贈られました

福岡県医薬品配置協会様から児童養護施設へ医薬品寄贈

福岡県医薬品配置協会様（上村 光昭 会長）は、「薬と健康の週間」に因み、県を通じ、毎年児童養護施設への医薬品の寄贈を行っておられます。

子ども達の健康を願い、キズ絆を受け取りました

今年度は、去る１０月３０日（金）に福岡県庁で医薬品（キズ絆１,０００個）の贈呈式が行われました。

同協会の上村会長は、「各施設の子ども達の保健衛生の向上に役立てていただければ幸いです」と述べられ、受領した久留米天使園 中島 俊則 園長（福岡県児童養護施設協議会 会長、写真左）は、「児童養護施設の子ども達は、こちらがハラハラするほど、毎日元気に過ごしています。スポーツや走り回ったりしてケガをすることがよくあるので、寄贈いただいたキズ絆は大切に活用させていただきます。」と感謝の言葉を述べました。

寄贈いただいた医薬品は、本会を通じて県内の各児童養護施設（２０施設）にお贈りしています。

この度は誠にありがとうございました。

福岡・北九州の両生命保険協会様から県内社協へ福祉巡回車を寄贈

生命保険協会福岡協会様及び生命保険協会北九州協会様は、平成元年からこれまでに８８台の福祉巡回車を、本会を通じて県内の市町村社会福祉協議会に寄贈されています。

車両は、保険協会加盟各社の職員の皆様方の募金活動により、ご提供いただいたもので、平成 27 年度は、福岡市、筑後市、北九州市、直方市の各社協へ１台ずつ、計４台の車両が寄贈されました。

去る平成 27 年 12 月９日（水）にふくふくプラザ（福岡市）で行われた福祉巡回車贈呈式では、生命保険協会福岡協会 堀江 喜義 会長（写真右）から福岡市社協　谷口　芳満　常務理事（写真左）にマスコットキーの贈呈がありました。

寄贈された車は、一人暮らし高齢者への配食サービスや見守り訪問活動、判断能力の不十分な方々の地域生活を支援する活動、子育てサロン活動など、地域福祉活動の推進や在宅福祉サービスの充実のために活用されています。毎年、本当にありがとうございます。

２０１６年版 社会福祉手帳、民生委員児童委員手帳 販売中！

●携帯に便利なポケットサイズ　<縦１４ｃｍ　横 8.5ｃｍ>
●スケジュール欄は、見やすい見開きカレンダータイプ
（２０１６年１月～２０１７年３月分）

【主な内容】
○社会福祉関係資料　・・・　社会福祉関係法律の要点など
○福岡県関係資料　・・・　県内社会福祉施設、福祉事務所、児童相談所、年金事務所、保健所、地域包括支援センター等の所在地・電話番号、各種相談窓口の連絡先や福岡県の人口と世帯・高齢化率等

金額（税込）１冊　８００円

送料別：1～2冊　１８０円、３～6冊３６０円、
７冊以上　６００円

【問い合わせ先】総務部　総務課　☎０９２－５８４－３３７７　（月～金　９：００～１７：３０）
※申込用紙は本会ホームページ（http://www.fsw.or.jp）からダウンロードしてください。
直接購入する場合は、クローバープラザ　西棟６階　総務課までお越しください。
土日祝日は、クローバープラザ　東棟２階　福祉情報センター（県民サービス部　人材･情報課）窓口で購入できます。

みんなが主役の元気な地域づくりセミナーを開催

地域が抱える問題や地域のつながりづくりの大切さについて、地域住民、ボランティア活動者、専門職等が一緒に考え、官民一体となった住民主体の元気な地域づくりを進めるため、標記セミナーを開催します。

日　時　平成 28 年 2 月 17 日（水）　10 時 10 分~15 時　（受付 9 時 30 分から）

会　場　福岡国際会議場　２階　多目的ホール　（福岡市博多区石城町２－１）

内　容　＜講演＞　「２０２５年に向けた地域づくり～地域でともに暮らす支え合いとは～」
講　師　ＮＰＯ法人全国コミュニティライフサポートセンター　理事長　池田　昌弘　氏

＜ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ＞　テーマ「実践！地域の暮らしを支える」
ﾊﾟﾈﾘｽﾄ　はまおう助っ人センター、川瀬北行政区サロン、下矢部西部地区社会福祉協議会

【問い合わせ先】　地域福祉部　地域課　☎０９２－５８４－３３７７

ふくおかのふくし　155号　発行所／福岡県春日市原町3丁目1番地7　福岡県総合福祉センター（クローバープラザ）内　社会福祉法人　福岡県社会福祉協議会　TEL(092)584-3377　FAX(092)584-3369　発行日／2016年（平成28年）1月15日　編集発行人／小川弘毅　印刷所／社会福祉法人　福岡コロニー

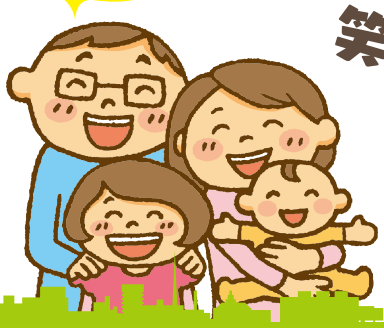
つながる！広がる！強くなる！

ふくおか“きずな”フェスティバル

家族で楽しめるよ！みんなで出かけよう！

入場無料

笑顔でつながる地域のきずな!!



開催内容

平成28年2月21日(日) 9:40～15:30

クローバープラザ 春日市原町3-1-7　JR春日駅すぐそば!

※ご来場には公共の交通機関をご利用ください

開会式典 9:40～10:40

オープニング 9:40～10:10
太宰府市立太宰府西中学校吹奏楽部

開会式典 10:10～10:40

講演及び介護劇 10:40～12:10

テーマ「地域での暮らしを支えるために今」
介護劇：ささえ愛･･･忘れてもよかよか･･･
講　師　認知症介護指導者ビーイングの会
藤﨑 陽子(特別養護老人ホーム富の里)
青柳 敏雄(特別養護老人ホーム志摩園)
劇団ぶー　有志一同

ボランティア活動別分科会 13:30～15:30

- 高齢者 ～生きがいづくり～ / アリーナ棟大ホール / 募集定員500名
- 障害児者 演題「ともに輝くために」～音訳ボランティアの世界～
  5階西棟501研修室 / 募集定員90名
- 災害 ～自己防衛力について～
  演題「災害が起こったとき、あなたはどうする?」～東日本大震災等の救助の体験を踏まえて～
  5階西棟セミナールームA / 募集定員48名
- 子育て支援 演題「こねっとから広げる子育て支援の輪」
  5階西棟セミナールームB / 募集定員72名
- 青少年健全育成 / 5階東棟508研修室A / 募集定員84名
- 環境 演題「北九州響灘ビオトープの取り組み」
  5階西棟504研修室 / 募集定員20名

ステージイベント 12:30～15:30

マユミダンスカンパニー / スタジオG-KIDS / 若竹保育園
かつめゆうこバレエスタジオ / 春日太鼓保存会 / KIDS･DANCE(OCTOPUS)

親子で楽しめるイベント 11:00～15:30

★可愛い貝のストラップを作りましょう
★作って遊ぼう～てぶくろ人形･けんだま･わなげ～
★おもちゃ病院
★1針体験、布絵本展示と布遊具で遊ぼう
★つくって☆すまいる
with大野城市中学生リーダーズクラブ
★楽しい工作教室　★つくって♪君も音楽家
★ファミリーシアター 夢は未来へ
★おはなし広場 12:30～15:30

◉福岡県まごころ製品販売フェア・食バザー
10:00～15:30

◉スタンプラリー
11:00～15:30

● 主　催
社会福祉法人福岡県社会福祉協議会
ふくおかきずなフェスティバル実行委員会

● 後　援
福岡県、春日市、福岡県教育委員会、公益財団法人福岡県人権啓発情報センター、公益財団法人福岡県女性財団、一般社団法人福岡県私立幼稚園振興協会、公益社団法人福岡県保育協会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県青少年団体連絡協議会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社西部支社、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送、FM福岡、子づれ DE CHA･CHA･CHA！、(株)リトル・ママ(順不同)

お問い合わせ
社会福祉法人
福岡県社会福祉協議会 共生社会推進課
〒816-0804 福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ6F
[TEL] (092)584-3377 [FAX] (092)584-3369 [E-mail] ikigai@fuku-shakyo.jp
○JR鹿児島本線春日駅から徒歩約1分 ○西鉄大牟田線春日原駅から徒歩約10分 ○西鉄バスJR春日駅バス停から徒歩約1分